

地 域見守り活動

6月30日、市役所で「地域における見守り活動に関する協力協定」の調印式が行われました。これは、鹿屋市民生委員児童委員協議会・生活協同組合コープかごしま・市の3者が連携し、独居高齢者・障がい者・子ども等の見守り活動や情報共有、必要な支援などを行うもの。この協定に基づき、安心して暮らし続けられる地域づくりをさらに推進します。



大 語教育の向品

6月23日、野里小学校で「かのや英語大好き事業」の研究 授業が公開されました。これは、市内小学生の英語力向上 や教員の英語指導力向上などを目的に行われたもの。この 日は、「ワールドツアーへ行こう!」をテーマに、世界旅行を 模擬体験しながらの授業を実施。参加した関係者は、研究 授業の様子に、熱心に見入っていました。



農を学ぶで食り

6月21日、下高隈町の田んぼで「田植え交流」が行われました。これは、田植えを通じた食と農の学習と、地域交流を目的に、平成21年から実施しているもの。この日は、星幼稚園の園児約90人が、上別府湧水友の会の指導を受けて田植えを体験しました。また昼食会では、地元の米で作ったおにぎり弁当をおいしそうに食べていました。





6月25日、串良平和アリーナ及び屋内練習場で「ボールゲームフェスタIN鹿屋」が開催されました。この日は、バレーボール元日本代表の大山加奈氏をはじめ、サッカー、ラグビー、バスケットボールそれぞれのトップアスリートの指導で、約220人が球技を体験。参加者からは、「楽しかったスポーツをこれから始めてみたい」という声が聞かれました。



ナ 光発電所が着工 州最大級の太陽

6月21日、鹿屋大崎ソーラーヒルズ合同会社と、発電事業に関する協定を締結しました。これは、4月の「鹿屋大崎ソーラーヒルズ太陽光発電所」着工を受けて、地元雇用や災害防止対策などを目的に締結されたもの。串良町細山田から大崎町野方にかけて、約200万㎡に建設される太陽光発電所は、平成32年中の稼動開始が予定されています。